Vol.41　チャーチ・モードの各スケールを覚える　～その 3～

『10 分トレ』vol.41、始めていきましょう。

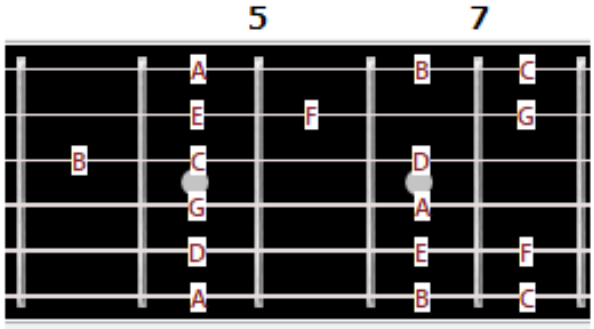
C アイオニアンの 3 回目ですね。Vol.39、40 と合わせて 3 ポジション目になります。

今後、これと同じ事を残りの 6 種のスケール(モード)で行っていくのですが、結局、複数のスケールポジションを重複させているだけなので、覚えるのはどんどん楽になっていきますので。

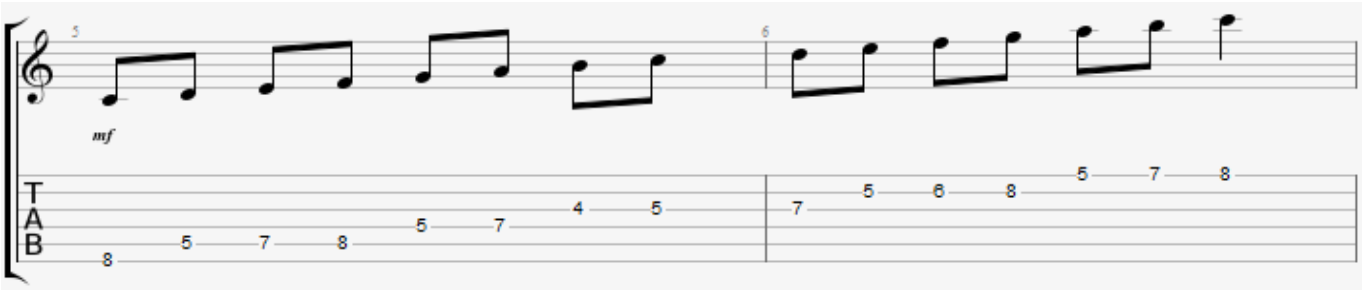
ギターに触ったら、ウォームアップがてら、とりあえず 3 ポジションくらい弾いておくと、気が付いたら身に付いているものです。

それでは、今回練習するポジションは以下になります。

図 1、C アイオニアンスケール、6 弦トニックポジション



譜例 1、C アイオニアンスケール、6 弦トニックポジション



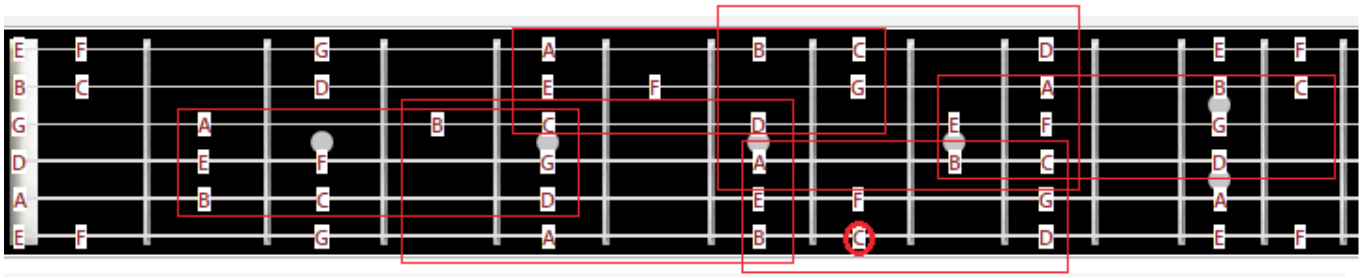
譜例は上行のみになっていますが、いつもの様に下降もやっておきましょう。

さて、図 1 のポジションは、C メジャースケールの頻出ポジションではありますが、同時に A ナチュラルマイナースケールとしても良く使うものです。

他には、5 弦 5 フレットの D 音をトニックに見ると D ドリアンのポジションですし、トニックを変えれば他のモード・スケールも見る事が出来ます。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

ここまで 3 回のテキストを合わせると、C アイオニアンだけで見れば、vol.02 で出てきた以下の様な広範囲の把握になり、



トニックを変えれば、C キーの調性内に存在するチャーチ・モード 7 種の重要ポジションを、複数把握しているのと同じことになります。

スケールは、それぞれの関連性を考えずに、バラバラに覚えようとすると、量の多さに圧倒されてしまいそうですが、実質一つのポジションに複数入っていると思えば、そこまで大変ではないでしょう。

後はやはり、少しずつでいいので地道に続ける事ですね。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved